

建築設計科

スポーツ実習 2

対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	小林猛			実務 経験	無	職種					

授業概要

様々なスポーツの実習を開講する。

到達目標

第一に体力の向上を図る。卒業後に向けて今のうちになるべく体力を向上させ健康の維持増進を目指し、卒業後も継続的な運動を行うことで、健康維持を図ることができる。第二にスポーツを楽しむために必要な競技ルールや審判法について学ぶと共に基本技能の習得を目指す。積極的に授業に参加し、スポーツを大いに楽しむことを望む。

授業方法

競技①～③について、屋外または屋内での実施を主とする。授業は後期期間中に2日間実施日を指定し行う。競技内容は天候等を勘案し決定するものとするが、サッカー・野球・バスケットボール・ドッジボール・バスケットボールのいずれかとする。

成績評価方法

授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する。

履修上の注意

運動に適した服装（トレーニングウェアなどの運動着を着用する。ジーンズなどの私服での参加は認めない）とスポーツシューズを用意すること。用具は一式揃っているが、自分の用具を持っていれば持参してもよい。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得(学生用)を守ること。

教科書教材

なし。

回数	授業計画
第1回	競技①のルールを理解し、体力の向上を図ることができる。
第2回	競技②のルールを理解し、体力の向上を図ることができる。
第3回	競技③のルールを理解し、体力の向上を図ることができる。